

## 山行報告書

野門からの女峰山

期間 2023/2/3-5

メンバー 谷嶋、上小牧

旧栗山村の野門地区に「東照宮」があると知ったのは、布引の滝にアイスクライミングに行き始めて間もなくの頃だったろう。この栗山東照宮は、戊辰戦争の折に徳川家康のご神体を日光東照宮から会津に避難させようとして叶わず、旧幕府方が野門地区に隠したもので、100年以上の時を経て発見されてことに因んで設けられたものだという。山深い野門地区にあの徳川家康にまつわる史跡があることに驚きつつ、私には北面の栗山東照宮から女峰山を越えて南面の日光東照宮に至る線が浮かんできた。夏は兎も角、冬季にこのルートを歩いた例は過去に無いのではないかと。しかも布引の滝を登って行った例はないであろう。いつしか毎年のように上小牧さんと野門から女峰山への計画を上げるようになったが、いつも目標を達成できずにいた。今回は布引の滝を登ることができなかったが、ようやく冬季に女峰山を越えて南北の東照宮間を結ぶ記録を書くことができた。

2/3 朝5時半に出発。天気は良く風も弱い。アプローチの林道の雪は少なく、快調に歩いて7時半に林道終点。少し登って野門沢が見下ろせる地点で布引の滝を確認すると、かなり細く見えて心配になる。斜面を下り、ベンチのある広場に着いたのは8時半。日陰になる谷筋はサラサラの雪でラッセルに苦労する。布引の滝の上部が見えてくると、例年よりも氷の発達が悪い。特にF2は10m以上の細いツララの集合で、とてもスクリュウが効きそうにない。テント、寝袋、スノーシューまで背負って登らなければならないことを考えると、登るのは不可能な状態だと思われた。入山前に土呂部地区の気温を確認して、何とか凍っている



だろうと期待してきたのだが、甘かった。今年もダメだったか。どう諦めようかと思って上小牧さんと相談すると、左岸を巻いてみないか、という話になった。岩壁の裾を巻いていくと尾根に出て、隣の沢が見える。この沢は野門沢から離れすぎてしまうので、目の前の尾根沿いに上がることにしたが、かなり急な斜面である。少し考えた後、今年こそ登りきるぞ、と心を決めた。そこからすぐにロープを結んで完全なクライミングになった。当然登られた痕跡は全くなく、確実な支点は得られないためかなりランナウトを強いられた。なるべく野門沢から離れないように左寄りにル



ートを求めたが傾斜が急すぎる。結局、野門沢に戻るのはあきらめて帝釈山経由と決めた。なんだかんだ急な雪壁を6ピッチほど登る。そのうち時間が15時を過ぎて、GPS上でテント場に適していそうな傾斜が緩いところを目指していく。到着した1730m地点はかなり狭い尾根であった。無理やりテントを張ったところ、隅が数十センチ落ち込んでいたが、エベレストの最終キャンプよりはマシだねと言って気にせず、邪魔な荷物をテントの隅に落とし込んでそこで幕営した。

2/4、ヘッドランプを点けずにルートファインディングできる出発時間ということで7時発。今日も天気が良い。尾根をひたすら登るが、ロープを出すまでではない。8時すぎに、傾斜が緩くなる標高1890m付近に到着。ここからしばらくは緩斜面なのでスノーシューをつける。木漏れ日の中、雪の斜面を歩いていくのは心地よい。やがて標高を上げていくと小さい木が密生するようになり、藪漕ぎとなった。さらに若木の枝に積もった雪を踏み抜くことが増え、ラッセルがとんでもなく大変になって来た。悪態をつきながら登り続け、15時に帝釈山手前の傾斜が緩いところ、標高2250mで幕営することとした。



2/5 最終日。今日も快晴、無風。朝6:30に出発。傾斜がきつくなりそうだがしばらくはスノーシューの範囲。踏み抜きに苦しみながら徐々に進み、8時過ぎに帝釈山の北面がはっきりと見えた。上部がかなり急に見える。さらに近づいていき、急な斜面をスノーシューでジグザグに登れないか試したが結局登れず、立木でセルフビレイを取ってぶら下がりながら慎重にアイゼンに履き替える。そこから1ピッチだけロープを結んで雪壁を登

るが、下部は締まりの悪い雪、上部はシュルントになっていて乗り越えるのにかなり時間を要した。

帝釈山に着いたのは11時過ぎ。この時点で予想より遅れており、かなり焦っていた。ここで携帯の電波が通じたので、下山遅れを予想してラインを送っておく。休憩もそこそこに女峰山に向けて歩き始める。スノーシューでの下りを苦勞しながらこなしつつ、小さいギャップでハイマツを掘り出して懸垂下降を1回。稜線から野門沢側を見下ろすと、急な雪の斜面と密集した森におおわれている。布引の滝が登れたとしても、野門沢沿いのルートは苦勞



しそうだ。女峰山頂到着は13:40。とうとう着いた！上小牧さんと固い握手をしつつ、思わず感情的になった。

ここからの下山ルートは長く、下山時間がかなり遅くなることが予想された。下山を始めると、南面の雪が緩んでいてしょっちゅう雪を踏み抜くので疲れる。そして少し下ったところで、上小牧さんのペースがガクッと落ちた。どうやらハンガーノックになってしまったようだ。吐き気があり食べるのもつらそうな状態で、一時は下山途中でのビバークを覚悟した。特に帝釈山以降、時間を焦って休憩時間を削ったせいで、パートナーの状態を把握できていなかった。大きな反省点である。しばらく歩いた後、上小牧さんが持っていたカーボシヨツを摂るとみるみる復活し、コースタイム並みで歩けるようになった。正直ほっとした。

途中でヘッドランプを点けて今市の夜景を見下ろしながらひたすら歩き、2人ともヘトヘトになって下山したのは19:50。ここまで出し切ったのは久しぶりだ。その後は、出発前に滝尾神社に停めておいた車に乗り込み、野門地区の車まで移動して解散した。

装備について、足回りについては悩んだが、ワカンでなくスノーシューとした。2泊分の全装備を背負った上にスノーシューをザックに付けて布引の滝を登るのはつらいのだが、アイスクライミングの時間よりも歩く時間のほうが長い。ワカンとスノーシューの重量差1kgは歩行で稼げると踏んだ。

その代わりとして、その他で徹底して軽量化対策をした。アイスクリューはなるべく軽量の物に。すべてのカラビナ、すべてのスリングを軽量の物に。ハーネスはフリー用。アイゼンを入れる厚手のナイロン袋はやめてポリエチ袋に。救急用品を入れる容器をやめてジップロックにした。ビレイ用ジャケットは最も薄手の物にし、ハードシェルは合羽にした。テルモスは350mlに。分離式バーナーは重いので直結式に。コッヘルも最も軽い組み合わせとした。もろもろで1kg以上は軽くなったと思う。

参考に、山行前の土呂部地区の気象データを記す。1月中旬は連日気温が高かったものの、1/21以降は気温が下がっており期待していたのだが、結局布引の滝の発達は良くなかった。

また、林道の積雪は少なく、アプローチはかなり楽だった。

土呂部 2023年1月(日ごとの値) 主な要素

日	降水量			気温			湿度		平均風速 (m/s)	風向・風速				日照 時間 (h)	雪		
	合計 (mm)	最大1時間 (mm)	最大10分間 (mm)	平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	平均 (%)	最小 (%)		最大	最大瞬間	最多	降雪の深さの 合計(cm)		最深積雪 (cm)		
1	0.0	0.0	0.0	-0.8	4.9	-6.0	///	///	0.7	3.3	北西	9.5	北	北西	6.6	0	23
2	0.0	0.0	0.0	-3.1	-0.9	-6.7	///	///	0.8	2.7	北西	7.1	西北西	北西	1.3	0	22
3	0.0	0.0	0.0	-3.8	-0.3	-7.4	///	///	0.6	2.5	北北西	8.2	北北西	北西	1.7	5	25
4	2.5	1.0	0.5	-4.4	-1.4	-7.3	///	///	0.3	1.5	西北西	5.3	北西	北西	1.7	5	29
5	1.0	1.0	0.5	-4.1	-0.7	-6.4	///	///	0.5	2.7	西北西]	8.0]	西北西]	西北西]	1.6	7	31
6	0.0	0.0	0.0	-4.0	1.1	-8.0	///	///	0.7	2.7	西北西	7.7	西北西	北西	4.7	2	29
7	0.0	0.0	0.0	-4.8	3.1	-11.8	///	///	0.5	3.2	南東	5.4	南南東	南東	6.0	1	27
8	0.0	0.0	0.0	-2.8	3.8	-8.2	///	///	0.7	2.9	西北西	6.6	西	北西	6.1	3	26
9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	-7.2	///	///	0.7	2.8	北西	7.8	北北西	北西	5.8	5	25
10	4.0	1.5	0.5	-4.2	-0.1	-7.9	///	///	1.8	3.7	西北西	13.9	西北西	北西	0.2	13	34
11	0.0	0.0	0.0	-4.3	4.3	-11.0	///	///	0.7	3.3	南東	5.8	西	北西	9.0	1	31
12	0.0	0.0	0.0	-2.9	9.0	-11.2	///	///	0.7	3.0	北西	8.1	北西	北西	8.4	1	28
13	0.0	0.0	0.0	-0.4	8.0	-8.1	///	///	0.5	2.5	南東	5.6	東南東	北北西	6.6	0	26
14	0.0	0.0	0.0	1.7	4.4	-0.6	///	///	0.3	0.9	北西	2.0	北北東	北西	0.7	0	24
15	2.5	0.5	0.5	1.5	5.9	-2.1	///	///	0.8	3.5]	南東)	5.3]	西北西)	南東)	2.7	1	21
16	1.5	0.5	0.5	-0.3	2.0	-2.8	///	///	1.7]	3.5]	西北西]	8.2]	西北西]	北西]	0.2	0	20
17	0.0	0.0	0.0	-2.5	1.8	-7.7	///	///	1.2	4.6	東南東	7.5	南東	南東	8.1	1	19
18	0.0	0.0	0.0	-1.9	4.5	-7.7	///	///	0.9	3.2	西北西	8.5	西	北西	4.4	0	18
19	0.0	0.0	0.0	-2.5	3.2	-8.2	///	///	1.1	5.1	南南東	8.7	南東	南東	8.3	0	18
20	0.5	0.5	0.5	-0.7	7.3	-7.7	///	///	1.0	3.3	南南東	8.9	北西	南東	8.3	3	21
21	2.0	1.0	0.5	-4.3	-0.7	-8.8	///	///	1.9	4.1	西北西	12.9	北北西	北西	8.4	5	26
22	0.0	0.0	0.0	-4.6	2.3	-11.8	///	///	0.9	3.2	西北西	7.5	南	北西	5.9	0	22
23	0.0	0.0	0.0	-3.8	0.7	-7.6	///	///	0.5	3.4	南東	5.6	南東	北北西	2.2	0	22
24	0.5	0.5	0.5	-4.7	5.1	-10.7	///	///	1.6	4.3	西北西	13.2	西	北西	2.1	4	24
25	19.0	3.5	1.0	-11.1	-8.9	-12.3	///	///	1.4	4.1	北西	13.8	北西	北西	0.0	25	48
26	0.0	0.0	0.0	-6.1	-0.2	-13.4	///	///	0.8	3.1	西北西	10.0	北西	北西	4.7	0	44
27	0.0	0.0	0.0	-5.7	-2.6	-9.7	///	///	0.9	3.3	東南東	7.6	北北西	南東	0.0	1	38
28	0.0	0.0	0.0	-8.0	-4.1	-12.4	///	///	1.0	3.0	北西	9.2	西北西	北西	3.6	1	36
29	0.0	0.0	0.0	-5.6	-0.3	-11.8	///	///	0.7	3.2	北西	8.3	南東	北西	6.6	1	35
30	1.0	0.5	0.5	-5.8	2.0	-13.7	///	///	0.9	4.5	南東	8.8	北北西	北西	5.9	4	38
31	0.0	0.0	0.0	-5.2	-0.9	-10.8	///	///	1.2	3.3	北西	8.4	北北西	北西	8.1	0	38

土呂部 2023年2月(日ごとの値) 主な要素

日	降水量			気温			湿度		平均風速 (m/s)	風向・風速				日照 時間 (h)	雪		
	合計 (mm)	最大1時間 (mm)	最大10分間 (mm)	平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	平均 (%)	最小 (%)		最大	最大瞬間	最多	降雪の深さの 合計(cm)		最深積雪 (cm)		
1	0.0	0.0	0.0	-3.1	5.9	-13.2	///	///	0.9	5.6	南東	9.2	東南東	北西	8.0	4	36
2	0.5	0.5	0.5	-3.3	-0.9	-6.3	///	///	1.6	4.2	北西	11.1	西	北西	6.9	3	39
3	0.0	0.0	0.0	-4.3	0.6	-9.4	///	///	0.9	2.8	西北西	5.9	北東	北西	7.7	1	33
4	0.5	0.5	0.5	-3.8	2.4	-11.4	///	///	1.0	3.8	南東	6.7	南南東	南東	5.4	5	36
5	0.0	0.0	0.0	-2.6	3.5	-8.3	///	///	1.2	4.2	南東	6.9	南東	北西	9.5	10	36
6	0.0	0.0	0.0	-2.0	7.4	-10.4	///	///	0.5	2.4	西北西	6.0	西北西	西北西	9.7	3	34
7	0.0	0.0	0.0	1.0	7.0	-4.0	///	///	0.8	3.9	南東	6.2	南南東	南東	4.8	3	33